



# 広報しずくいし

2018年  
12月号



## 春の高校バレー全国大会出場！

横欠旭飛さん（栗石中・一関修紅高等学校3年男子バレーボール部主将・横欠）が、11月5日に盛岡市タカヤアリーナで行われた「春の高校バレー第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会」で見事優勝し、全国大会の切符を手に入れました。

横欠さんは「ベスト8を目指して頑張ります。応援よろしくお願いします！」と元気いっぱい意気込みを語りました。同全国大会は、1月5～7日、12～13日に東京都武蔵野の森総合スポーツプラザで行われます。全国にはばたく栗石町民をみんなで応援しましょう！！

## Contents

町勢功労者4氏を表彰.....	4
吉田俊吾さんに町民栄誉賞を授与.....	5
シティプロモーションの推進に取り組んでいます...	6
町民意識調査結果.....	8

## 新栗石町長就任 (2ページ)

—子育て応援宣言!—

子育てが(楽)しくなるまち、栗石

町民の皆さまと共に、  
ふるさとを再生へ。

新栗石町長就任

しげひさ  
猿子恵久 (61)

プロフィール

昭和 32 年 4 月 28 日生まれ  
栗石町長山出身  
盛岡農業高校卒  
県農業農村指導士

【主な経歴】

1997 年 猿子園芸設立  
2000 年 町農業委員  
2003 年 栗石町議選で初当選し連続  
3 期。町議会広報編集特別  
委員長、町産業建設常任委  
員長などを歴任。  
2011 年 町議会議長  
2015 年 県農業法人協会理事  
2018 年 栗石町長に就任

## ●猿子恵久氏が雫石町長に就任

雫石町長選で初当選を果たし、11月10日付で町長に就任した猿子恵久氏の町政（任期4年）がスタートしました。

具体的な政策については今後協議を重ねながら取り組むこととなりますが、町長就任にあたり、町政に臨む姿勢やまちづくりへの思いを語っていただきました。

### ——町長就任にあたり

#### 率直な感想は

町長 私事になりますが、町長選挙では皆さまがたから多大なるご支援、ご協力をいただきましたことに対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、就任にあたっての率直な感想ということですが、以前、町議会議員として長く務めていた経験がありますので、行政運営というものに対して入り込みやすい部分は感じています。

現在は関係各所、さまざまな場所へあいさつ回りをさせていただいておりますが、同時に、勉強させていただくことも大変多く、こ

なすだけで精いっぱい、というような状況です。

ですが、さまざまな課題が見えていることも事実です。課題解決のために、また町民皆さまのために、ひとつひとつ仕事をこなして良い方向へと向かっていきたいです。



——今後取り組んでいきたい政策、力を入れて進めていきたいことなどは

町長 全国的に人口減少という大きな課題があり、本町においても喫緊に対策を講じなければならぬと考えています。

また、それらにより町の税収が下がっていくということもあります。雫石町全体の全ての産業が強く進んでいかなければ、さらなる削減も免れない状況です。

ですから、農業ばかりではなく、観光や商工業なども連携し、産業振興を一番重要視して、まちづくりを進めてまいりたいと思っております。

その他にはやはり、雫石町も少子化・高齢化に向かっていきますので、国や県などの政策を重視しながら、社会福祉・子育て支援・高齢化対策などについても万全を期していかなければならないと思っています。

——町民の皆さんへメッセージをお願いします

町長 私もここ雫石町で生まれ育ち、60年以上が経ちました。大自



初登庁時の様子

雫石町に住んでいてよかったと思っております。

町民の皆さまにも、雫石に生まれてよかった、暮らしてよかったと思われている人もいらっしゃると思いますが、そのような中で、これからも若い世代をはじめ、だれもが雫石町に住み続けたいと思える町へと、そして、町外の皆さまからも、雫石町はいいところだと感じてお越しいただけるような政策を今後組み立てていき、さらに魅力のある町にするために尽力してまいります。

そのためにも、皆さまとの対話を大切にし、手を取り合い、共にふるさと再生へと歩んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

昭和 62 年 5 月から平成 14 年 9 月までの 15 年 5 カ月の永きにわたり、町議会議員として町政審議に参画し地方自治の振興と町政の進展に尽力されました。

平成 10 年 5 月からは、岩手郡町村議会議長会長として 2 年 11 カ月在職し、郡内町村議会の連携と円滑な事業実施に手腕を発揮し、郡内町村議会の発展に大きく貢献されました。



大宮 惇幸 さん  
(西根谷地・71 歳)



山崎 正美 さん  
(小松・73 歳)

昭和 46 年 4 月から平成 23 年 3 月までの 40 年の永きにわたり、消防団員として町民の財産生命を守るため尽力し、平成 20 年からは副団長として後継団員の育成に尽力されました。

## 高齢者叙勲



旭日 単光章  
高藤 昌次郎 さん  
(赤滝・88 歳)

昭和 50 年から昭和 62 年までの 12 年の永きにわたり、町議会議員として町政審議に参画し、特に昭和 52 年 6 月からの 2 年間は教育民生常任委員会副委員長、昭和 60 年 6 月からの 2 年間は同委員会委員長の要職を歴任し、地方自治の振興と町政の進展に尽力し、さらに、昭和 43 年から平成 25 年まで統計調査員を務め、行政基礎資料の作成にも多大な貢献をされました。

昭和 49 年 4 月から平成 15 年 3 月までの、29 年の永きにわたり、交通指導員として地域の交通安全や交通安全教室において尽力し、平成 8 年 4 月から平成 15 年 3 月までの 7 年間隊長として隊員の指導育成や交通安全活動の先頭に立ち、隊を統率されました。



千葉 喜久馬 さん  
(橋場・70 歳)



徳田 勇悦 さん  
(元御所・68 歳)

平成 15 年 5 月から平成 30 年 5 月までの 15 年の永きにわたり、農業者の地位向上に尽力し、平成 24 年 5 月から平成 30 年 5 月まで農業委員会会長職務代理者として、農業振興に多大な貢献をされました。

## 平成 30 年度 町勢功労者 4 氏を表彰

町勢功労者表彰式が 11 月 30 日、町役場で開かれ、4 氏を表彰しました。町勢功労者表彰は、毎年、町勢発展に長年により尽力された人を表彰しています。

カヌー競技で全国的に活躍

# 吉田俊吾しゅんごさんに町民栄誉賞を授与



## 町民栄誉賞とは…

町民栄誉賞は、町民または本町に縁の深い個人もしくは団体を対象に、文化、スポーツなどの分野において国内や国際的な場で優れた活躍をしたことにより、広く町民に明るい希望と活力を与えるなど、その功績が特に顕著な人の栄誉をたたえるため、平成17年に町政50周年を記念して制定された表彰制度です。

これまで町民栄誉賞は、細川チエさん（郷土芸能発展と活躍）、久慈順子さん（ボウリング競技における活躍）、故加藤ミツエさん（町選定保存技術の亀甲織の技法再現と普及）、福田こうへいさん（演歌歌手として全国的に活躍）の4人が受賞しており、吉田俊吾さんで5人目となります。

▲左から猿子恵久町長、吉田俊吾さん、作山雅宏教育長

町は11月30日、カヌー競技で目覚ましい活躍を見せた本町在住の吉田俊吾さん（零石中・県立不来方高3年）に、町民栄誉賞を授与しました。

授与式は町役場庁舎内で行われ、猿子町長から吉田さんに、表彰状と記念品などが贈られました。町民栄誉賞を授与された吉田さんは「町民の皆さんの声援が励みになります。大学でもカヌーを続け、チャンピオンを目指します」と力強く話してくれました。

吉田さんはこれまでに、平成29年の第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」カヌー競技での優勝をはじめ、平成30年8月には、平成30年度全国高校総合体育大会「2018 彩る感動 東海総体」で優勝。同年10月には第73回国民

▶猿子町長から表彰状を受け取る吉田さん



カヌー競技（インターハイ）の様子

体育大会「福井しあわせ元気国体2018」で優勝するなど多くの全国大会を制覇し、その活躍は、町民に明るい希望と活力を与えました。

# シティプロモーションの推進に 取り組んでいます

## Shizukuishi City Promotion

### ◎ブランドメッセージの策定を進めています！

町は平成30年度、重点事業の項目のひとつとして、「シティプロモーション」の推進に取り組んでいます。その中でも本年度は特に、「ブランドメッセージ」策定の検討を進めています。本号では、町のこれまでの取り組みと今後の取り組みなどについてお知らせします。

#### シティプロモーションとは

シティプロモーションとは、「自分たちのまち（地域自治体）をより広く知ってもらうための手段」です。また、シティプロモーションには、地域再生、観光振興、住民協働などさまざまな概念が含まれています。

捉え方は多々ありますが、その一つは、そこに住む地域住民の愛着度の形成と考えられます。その先には、地域の売り込みや自治体名の知名度の向上と捉えることも可能です。さらに、自らの地域イメージを高め経営資源の獲得を目指す活動と考えることもできます。

※田中淳一さん講演会、シティプロモーション自治体等連絡協議会ホームページより。

#### ブランドメッセージとは

ブランドメッセージとは、「町や町民が大事にしてきたこと、これから大事にしたいことを表わす言葉」です。

ブランドメッセージを基本とした情報発信を町内外に向けて実施することで、町民にとっては「住み続けたいまち」、町外の人には「訪れたいまち」「住みたいまち」と思われるまちづくりを推進することを目的としています。

#### これまでの町の取り組み

本年度から新たに実施しているシティプロモーション推進の取り組みにおける「ブランドメッセージ」策定は、町だけでなく、NPO法人（地域づくり支援団体）、まちづくり会社、シティプロモ-

ーション・まちづくりのプロフェッショナルの協力をいただきながら、町民有志、中学生・高校生なども交えながら検討を進めてきました。

また、ブランドメッセージについては、平成32年度（2020年度）をスタートとする第三次雫石町総合計画で示す「まちの目指すべき将来像」と関係性を持たせることとして、その策定作業を進めています。

#### 具体的な取り組み

##### ①講演会の開催

町民の皆さんにシティプロモーションへの理解を促進するため、講演会を開催しました（6月27日、中央公民館）。

講師は株式会社POPS 田中淳一さんと、クリエイティブダイレクター・コピーライターの田中さんは、20以上の自治体でシティプロモーションや、まちづくりを手掛けており、今回、雫石町のブランドメッセージ案の作成にもご協力をいただいています。

講演会には、町内外から約100人が参加。これまで田中さんが携わった他自治体のクリエイティブな取り組み事例の紹介を中心とした講演は、参加者から大変好評をいただきました。

##### ②ヒアリング調査の実施

ブランドメッセージ案作成のための話題収集や、町民参加型のシティプロモーションの実現を目的として、町民が「雫石町」に対してどのような思いを抱いているのか、田中さんによる聞き取り調査を



講演する田中さん

# 雫石町への思いをみんなで “かたち”にしましょう！



雫石中生徒・SKYの皆さんとの集合写真



▶田中さんによるヒアリングの様子(写真右▽地域づくり会議メンバーなど。写真左▽雫石中生徒など)



行いました。聞き取りは、地域づくり会議メンバーなどの町民有志や、雫石中学校家庭部、野球部、ジュニアリーダーズクラブSKYに対して行い、「雫石のどこが好きか」「雫石にしかないものは」などの基本的な項目から、「雫石を色に例えると」「雫石が人間ならどんな人」などといった一風変わった事柄もヒアリングしました。

③その他

- 4地区別地域づくり計画の検証

これまで地域づくり会議で実施されてきた「地域点検」や「夢語りワークショップ」で出された各地区の将来像を活用し、町全体のブランドメッセージにも取り込んでいくことを目的として、4地区別地域づくり計画の取り組みを検証しました。

- 町の情報発信に関する調査

行政主導の情報発信の中で、町民の意向が不在となっている部分もあることを課題と捉えて、現在の町の情報発信のあり方について検証しました。

**ブランドメッセージの決定には、町民の皆さんの参加も！**

これまでの検討を基に、町民の皆さんが誇りを持てるような、また、町外の人を惹きつけることができるような複数のブランドメッセージ案を作成します。この案の中から1つに絞っていきますが、その過程には町民の皆さんにも関わっていただくような仕組みを現在企画しています！

## 今後やうに…

今後のシティブロモーションの取り組みとしては、ブランドメッセージを活用しながら、たくさんの町民の皆さんに関わっていただき、雫石町を町外の人に向けて、より広く知ってもらうための手段を検討していくとともに、町民の皆さんが雫石町に対してより一層の愛着や誇りをもてるような仕組みづくりを検討していきます。

【問い合わせ先】町役場政策推進課企画担当(☎692・6409)

# 町民意識調査結果

町民の意識や動向、まちづくりに対する考え方を把握し、今後の基礎資料とするために実施した「町民意識調査」の調査結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。なお、全調査結果は、町ホームページで公表するほか、町役場1階ロビーや各地区公民館に冊子を備え付けていますので、ぜひご覧ください。

## 町民1500人を対象に

今回の調査は、男女別、年齢階層別、地区別に、無作為に抽出した18歳以上の町民1500人を対象に、マークシート記入方式での調査を実施しました。

調査票の配布と回収は町統計調査員が行う方法で実施し、90%を超える高い回収率となりました。

## 健康づくり体制や自然環境などの満足度高く

平成23年度からの第二次平石町総合計画の5つの大きな施策分野の34項目について、

満足度と重要度を調査しました。

調査の結果、満足度が一番高かったのは、「健康診断・予防接種などの健康づくり体制の充実」で「大変満足」「やや満足」と回答した人が75.1%に上り、次いで「自然環境・景観の保全」が61.1%となり、2年前の前回調査と同様の結果となっています。一方で、「全く満足していない」「あまり満足していない」と回答した割合が高い項目は、「町内で働くことができる雇用環境の整備」で64.2%と高く、次いで「魅力ある商店街づくりの取り組み」

が56.4%となっています。また「わからない」という回答割合が教育文化分野、産業分野、地域コミュニティや地域の担い手育成などの取り組みで多い傾向となりました。

## 重要度の調査項目は総じて「大切」という結果に

調査項目に関する重要度では、総じていずれの項目についても「非常に大切」「大切」と回答した割合が75%以上の高い水準となりました。そのほかに、地域資源やまちづくり意識、町の施策の認知度などに関する調査を実施しました。

## 調査結果は町ホームページなどで公表しています

本号では、主な調査項目回答結果について掲載しています。全調査結果については、町のホームページに掲載しているほか、冊子を町役場1階ロビーおよび各地区公民館に備え付けています。

また、今回の調査は岩手県立大学総合政策学部と共同で実施しておりますが、分析結果については3月中旬に報告をまとめる予定です。  
【問い合わせ先】町役場政策推進課（☎692・6409）



## ●回収結果の状況

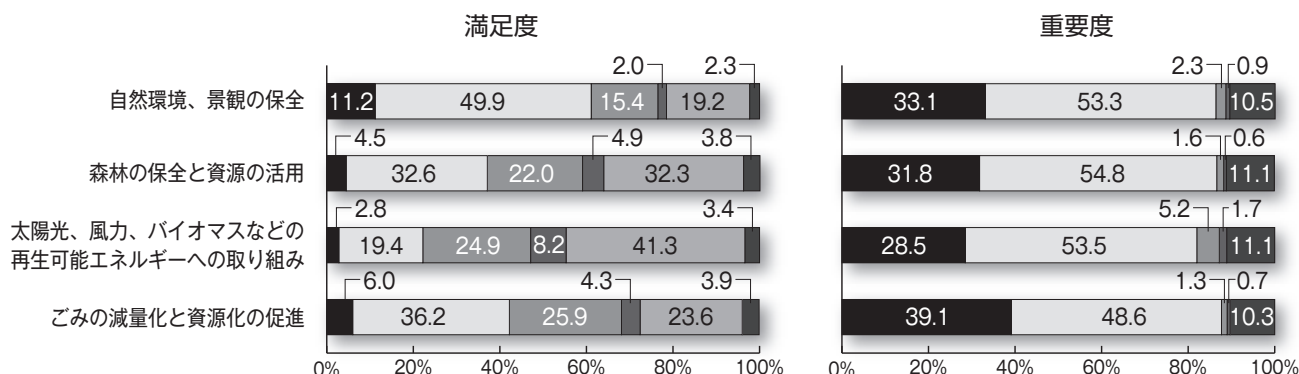
調査は7月12日～8月3日の期間で実施しました。調査票は、男性629人、女性709人、性別未回答35人、計1,373人から回答していただき、**91.5%**という高い回収率となりました。

回答者の性別は、男性45.8%、女性51.6%で、年齢構成は、70歳代以上18.4%、60歳代23.7%、50歳代17.8%、40歳代16.1%、30歳代12.2%、29歳以下11.1%となっています。回答者の居住地区は、雫石地区46.8%、御所地区16.5%、西山地区20.8%、御明神地区14.8%となっています。



## 満足度、重要度について

### 「環境を守り育てるまち(自然、景観、環境、土地利用)」への取り組みについて

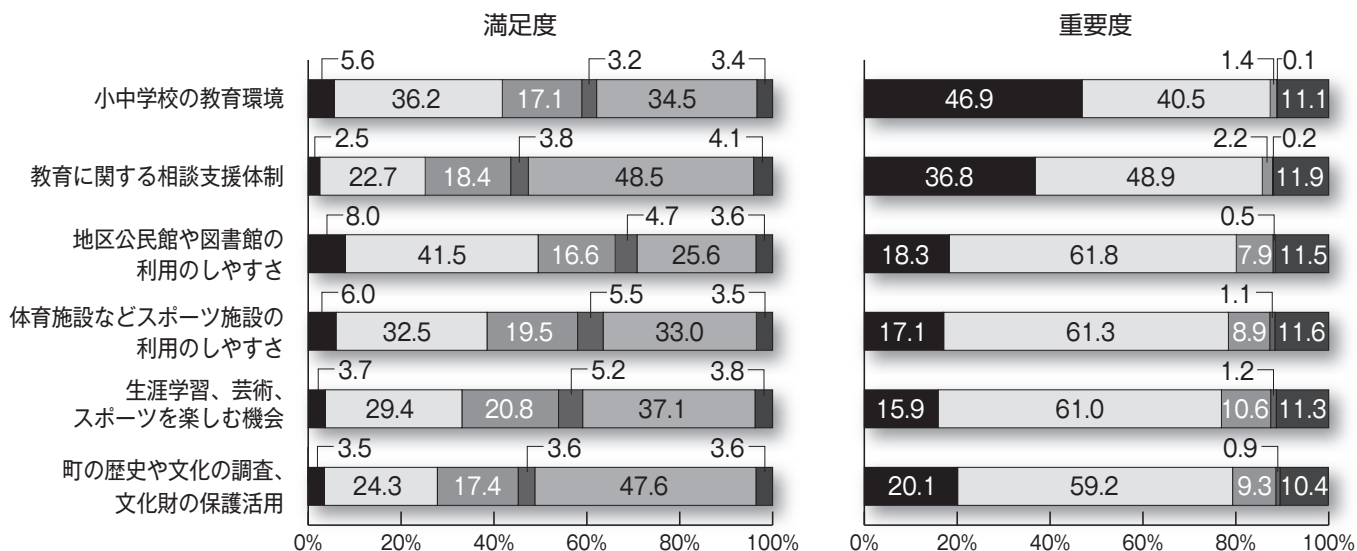


#### 【解説】

環境全般に関する満足度は、「自然環境・景観の保全」について、「大変満足」「やや満足」を合わせた回答が60%を超える高い満足度となっています。次いで「ごみの減量化と資源化の促進」について42.2%が満足していると回答しています。重要度について、全ての項目で80%以上の人が「非常に大切」「大切」と回答しています。

環境保全への満足度の高さが伺える結果となりましたが、太陽光や風力など再生可能エネルギーへの取り組みについては、「あまり満足していない」「全く満足していない」「わからない」合わせて70%以上あり、今後より一層の取り組みが必要であるとの結果となりました。

### 「心豊かに暮らせるまち(教育、文化、芸術、スポーツ)」への取り組みについて



#### 【解説】

教育文化全般に関する満足度は、「大変満足」「やや満足」と回答した割合は、「地区公民館や図書館の利用しやすさ」が49.5%、「小中学校の教育環境」が41.8%となっています。「分からない」との回答が「教育に関する相談支援体制」「町の歴史や文化の調査・普及と文化財の保護活用」の項目で45%以上となっており、制度や活動内容の認知度が低い結果となりました。

重要度については、全項目で高い傾向ですが、特に「小中学校の教育環境」では「非常に大切」と回答した人が46.9%と高い結果となりました。

#### 《凡例》

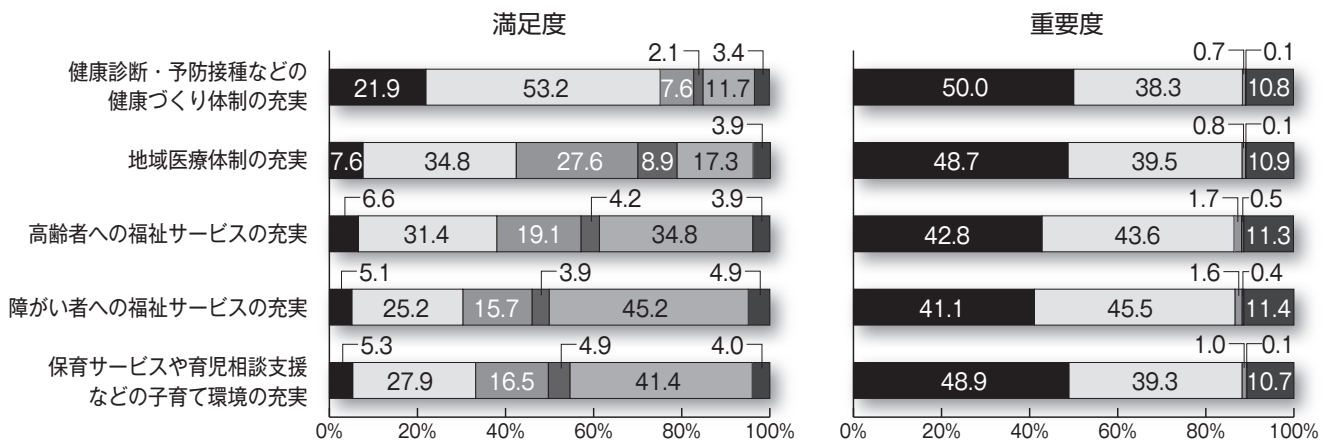
満足度

■ 大変満足 □ やや満足 ■ あまり満足していない  
■ まったく満足していない □ わからない ■ 無回答

重要度

■ 非常に大切 □ 大切 ■ さほど大切でない  
■ 大切ではない ■ 無回答

## 「健やかでやすらぎのあるまち(保健、医療、福祉)」への取り組みについて

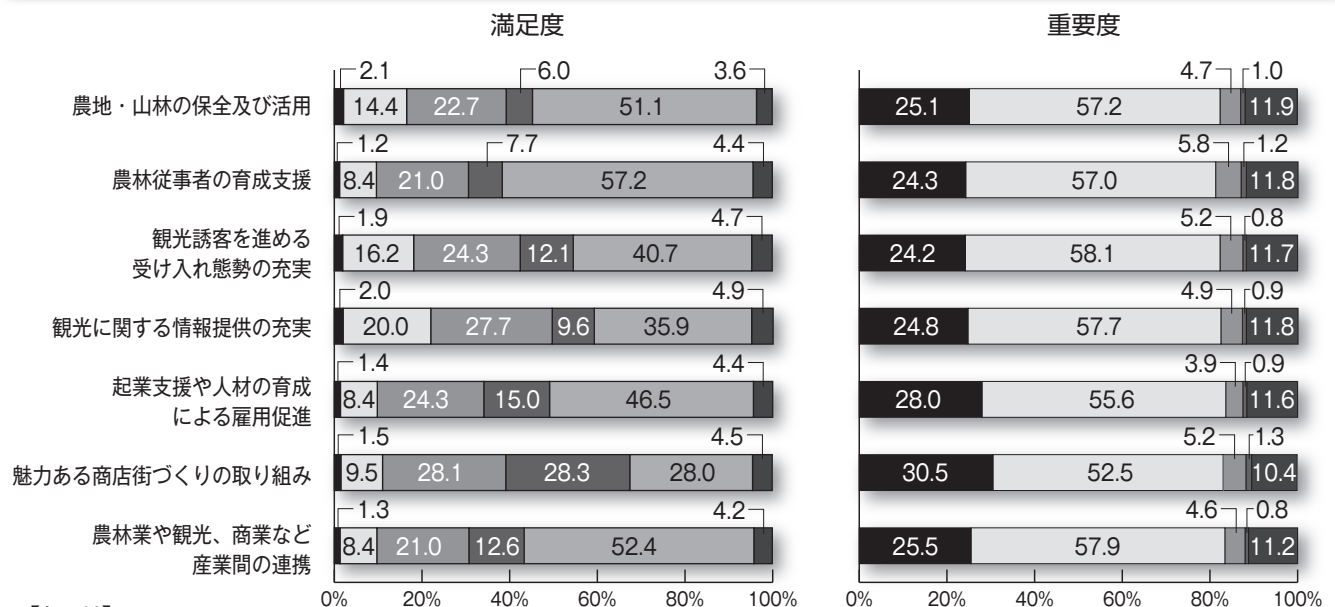


### 【解説】

保健・福祉全般に関する満足度は、「健康診断・予防接種などの健康づくり体制の充実」が「大変満足」「やや満足」合わせて75.1%と今回の調査の中で最も高い満足度でしたが、それ以外の項目については50%以下となっています。

「障がい者への福祉サービスの充実」や「保育サービスや育児相談支援など子育て環境の充実」は40%以上が「分からない」と答え、割合が高くなっています。重要度について「非常に大切」「大切」合わせた割合が85%以上と高くなっており、関心度が高いが、一方で制度や実態が浸透していない状況が伺えます。

## 「産業力を高め合い活力みなぎるまち(農林業、観光、商業、工業)」への取り組みについて



### 【解説】

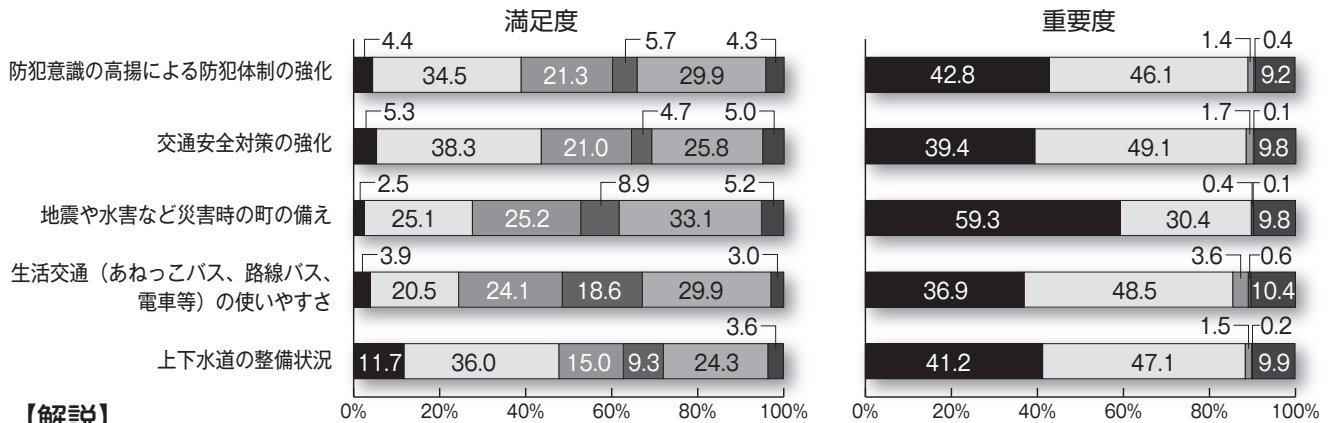
産業全般に関する満足度は、「大変満足」「やや満足」合わせた回答の割合が、他の部門に比べ低くなっており、特に「農林従事者の育成支援」が9.6%と最も低くなっています。「分からない」と回答した割合は他の部門に比べ多く、50%を超えている項目も見られます。「魅力ある商店街づくりの取り組み」については56.4%が「あまり満足していない」「全く満足していない」と回答しています。産業振興など、より一層の取り組みの強化と周知が必要とされています。

### 《凡例》

**満足度**  
 ■ 大変満足 □ やや満足 ■ あまり満足していない  
 ■ まったく満足していない □ わからない ■ 無回答

**重要度**  
 ■ 非常に大切 □ 大切 ■ さほど大切でない  
 ■ 大切ではない ■ 無回答

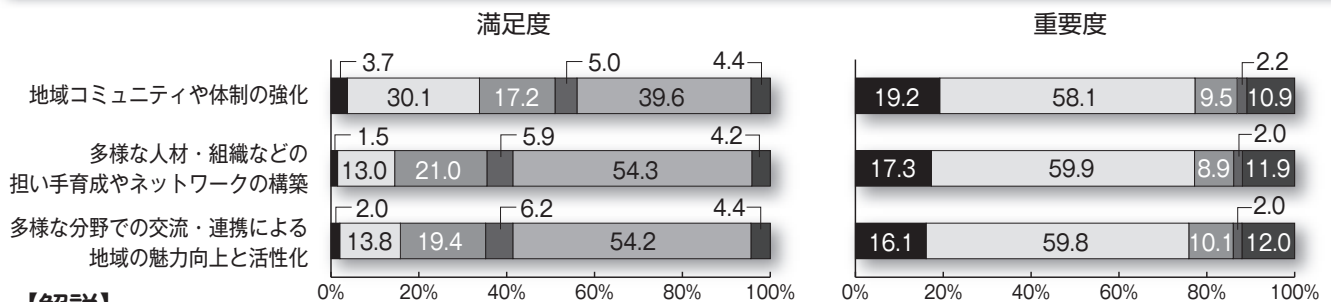
## 「安全に安心して暮らせるまち(防犯、交通安全、消防防災、生活環境)」への取り組みについて



### 【解説】

安全安心な暮らし全般に関する満足度は、「交通安全対策の強化」「上下水道の整備状況」について、「大変満足」「やや満足」合わせた割合が、共に40%以上と比較的高くなっていますが、「地震や水害など災害時の町の備え」と「生活交通(あねっこバス、路線バス、電車等)の使いやすさ」は20%台と低くなっています。

## 「自主・自立、人材育成、交流・連携」への取り組みについて

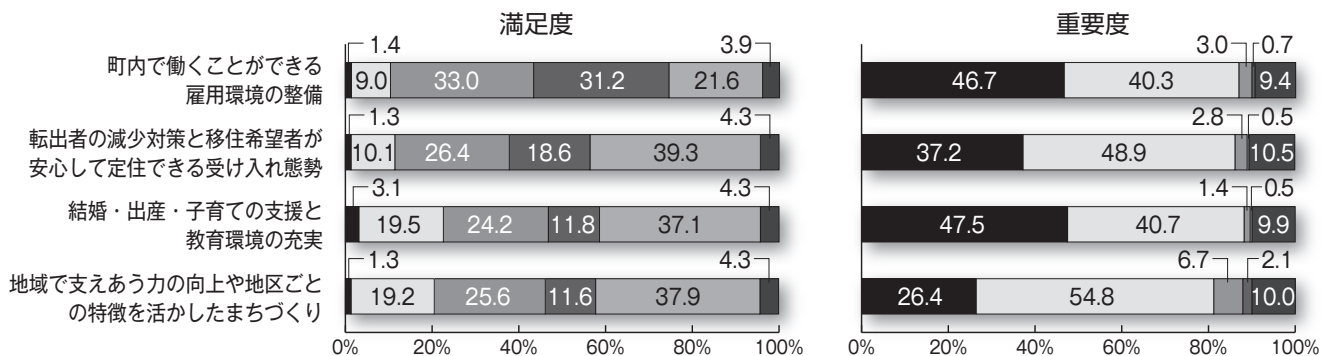


### 【解説】

自主自立などに関する満足度は、「地域コミュニティや体制の強化」について、「大変満足」「やや満足」が33.8%となっている一方、「多様な人材・組織などの担い手育成やネットワークの構築」は14.5%と低くなっています。地域コミュニティなどの体制が整う一方で、運営主体となる人材やそのネットワークの構築が遅れていると感じている結果となりました。

重要度についても「非常に大切」「大切」が70%台と、全体の中では低くなっています。

## 「人口減少対策」への取り組みについて

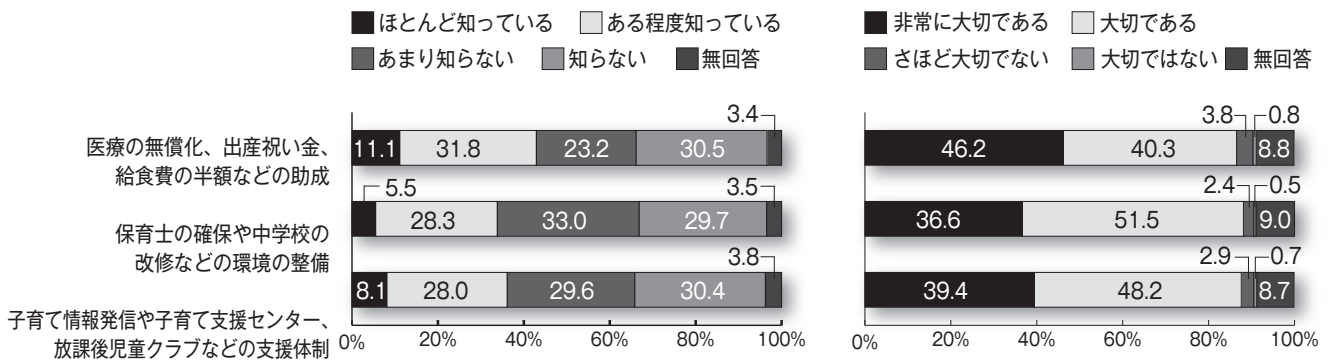


### 【解説】

人口減少対策への取り組みについては、「町内で働くことができる雇用環境の整備」の満足度が全体を通して最も低く、「あまり満足していない」「全く満足していない」が64.2%となっており、産業全般に関する調査同様、町の経済産業の活性化を強く望む意識が表れています。

このほかの項目についても、「大変満足」「やや満足」が20%以下となっており、転出者の減少対策や子育て環境の充実が求められる結果となりました。

## 子育て支援の認知度・重要度

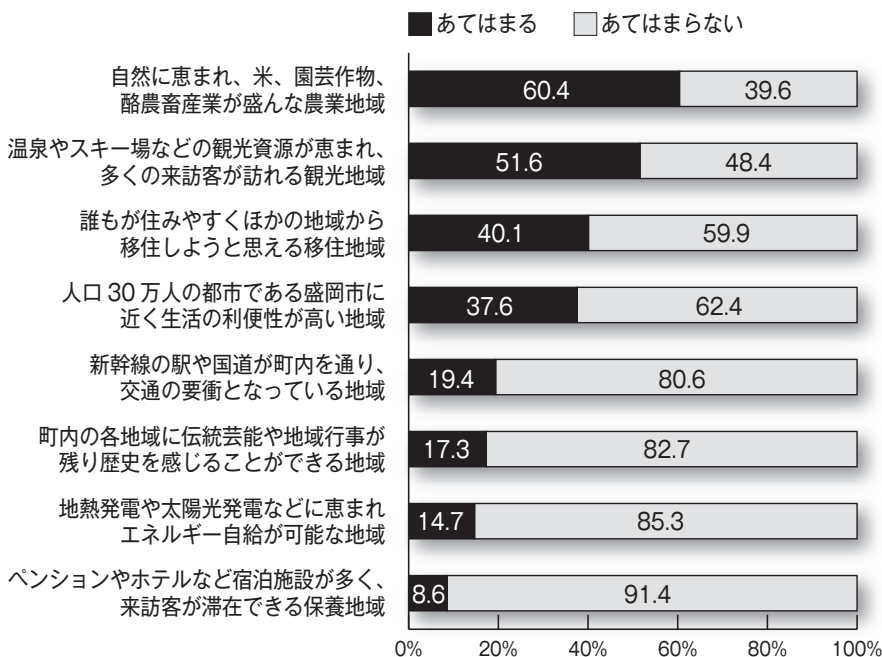


### 【解説】

子育て支援の取り組みに関する認知度は「ほとんど知っている」「ある程度知っている」と回答した割合が、30～40% となっております。重要度では、「非常に大切」「大切」と回答した割合が90% 近い結果となっております。子育てを応援する町として、取り組みの充実と、子育て世代だけでなく、多くの町民へ取り組みの浸透が今後求められます。

## 町のイメージについて

### あなたが思い描く町のプラスのイメージとして、あてはまるものは次のうちどれに近いですか(※3つまで回答可)



### 【解説】

町の良いイメージとして「自然に恵まれ、米、園芸作物、酪農畜産業が盛んな地域」「温泉やスキー場などの観光資源に恵まれ、多くの来訪客が訪れる観光地域」が50% を超えており、次いで「誰もが住みやすくほかの地域から移住しようと思える移住地域」が40.1% となっております。

満足度・重要度の調査項目では、農業や観光といった産業部門の取り組み、移住・定住といった人口減少対策の取り組みでは満足度が低い一方で、町の良いイメージとして考えている結果となりました。

# 生活

## 冬季の水道管理にご注意を！ 正しい水抜き操作で凍結防止の徹底を

### ◆凍結する前に

#### 夜間や外出時は水抜きを

水道管内の水は、気温が氷点下になると凍結する恐れがあります。水道水が凍結すると、水が出なくなるだけでなく、水道管の破裂にもつながる場合があります。

そうならないために、夜間や外出などで長時間水道を使わないときは水抜き栓（不凍栓）で水を抜いて凍結を防止しましょう。

### ◆水抜き栓のしくみと操作方法

①蛇口をいっぱいに開けて、水を出します。

②水抜き栓（不凍栓）を完全に閉めます。

③蛇口に手のひらを当ててみて、空気を吸い込んでいることを確認します。トイレのロータンの水も忘れずに流してください（操作は②↓①の順序でも構いません）。

これにより、凍結の原因である「水」が配管内から流れ出るため、凍る心配がありません。水抜き栓が半開きのままだと地中に水が流れ続け、水道料金が高額になる事例が毎年発生していますので、十分に注意してください。また、水抜き栓の開閉は確実に最後まで行ってください。

### ◆凍結してしまったら

#### 蛇口付近を温めましょう

蛇口付近など凍っていると、思われる箇所タオルをかぶせ、その上からぬるま湯をかけてください。熱湯をかけると管が破裂することがありますので、必ずぬるま湯を使用してください。タオルを

かぶせるのは余熱を利用するためです。

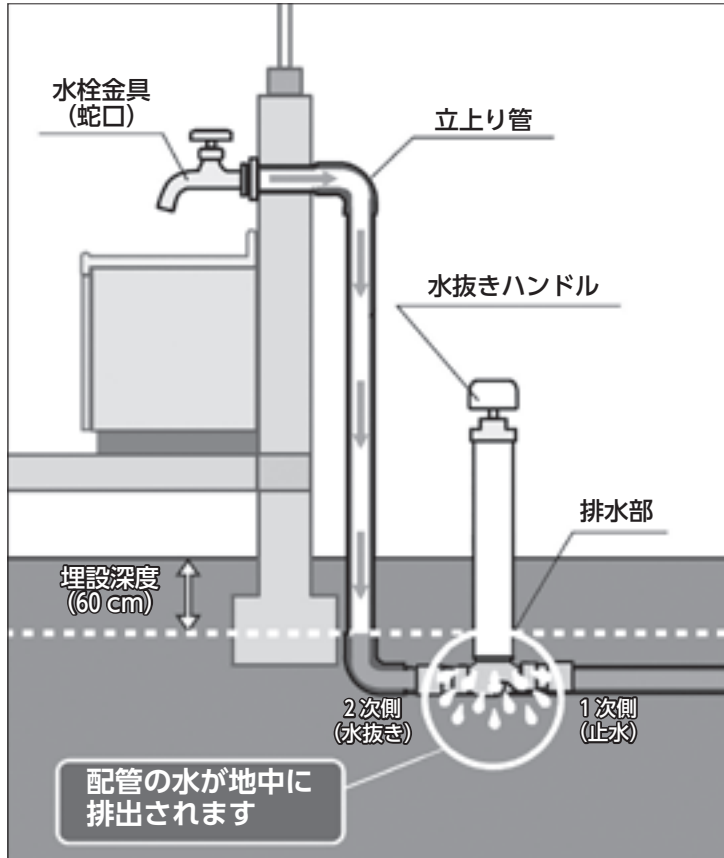
また、ぬるま湯の代用としてヘアドライヤーなどでゆっくり温める方法もあります。ガスバーナーなどは炎や加熱した水道管から火災が発生する恐れがありますので絶対に使用しないでください。

### ◆それでも水が出ない場合は 専門業者に修理依頼を

これらの方法などでも水が出ない場合は、町指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。なお、修理費用は依頼した人の負担になります。

寒波の到来などで一度に多くの家庭で水道管が凍結して、業者に修理依頼が殺到した場合、解凍作業への着手が遅れることがあります。程度によっては、一日中水道が使えるなくなる場合もあります。日ごろから天気予報に注意して水道管を凍結から守りましょう。

【問い合わせ先】町役場上下水道課（☎692・6408）



## 医療

後期高齢者医療制度

### 適正受診にご協力ください

保険医療機関などにかかったときの医療費（後期高齢者医療保険負担分）は、公費（税金）約5割、現役世代からの支援金（若年者の保険料）約4割、高齢者の保険料約1割でまかなわれています。

高齢者が安心して医療を受けられるしくみを、世代を超えて、みんなで支えています。医療機関などの適正な受診を心掛けることで、医療費の増加が抑えられ、保険料などの負担を抑えることにつながります。

#### ◆適正受診のポイントは4つ

- ① かかりつけ医を持ちましょう。  
普段の健康管理について、気軽にアドバイスを受けることができ「かかりつけ医」を持ち、気になることがあったら、まずは相談しましょう。

## 税金 申告準備はお早めに

医療費控除を受ける場合は明細書の作成、生命保険料控除や地震保険料控除を受ける場合は控除証

- ② 診療時間内に受診しましょう。  
急病などのやむを得ない場合でなければ、診療時間内に受診しましょう。

休日や夜間など、診療時間外に受診すると、割増料金がかかり、医療費がかさんでしまいます。

- ③ 重複受診は控えましょう。

同じ病気で複数の医療機関を安易に受診することは、重複する検査や投薬により、かえって体に悪影響を与えてしまう可能性があるため控えましょう。

- ④ 薬のもらい過ぎに注意しましょう。

薬は用量・用法を守って正しく服用しましょう。薬が余ってしまったときには、医師や薬剤師に相談しましょう。

【問い合わせ先】町役場町民課医療給付担当（☎692・6479）

明書の保管、事業者は収支を整理するなど、確定申告に向けた準備をお願いします。

【問い合わせ先】町役場税務課（☎692・6483）

## 税金

### 30年中に家屋を取り壊した場合は年内に滅失届を提出してください

固定資産税の対象となっている建物の全部または一部を取り壊した場合、町役場税務課に家屋滅失届を提出する必要があります。

固定資産税は、毎年1月1日現在の状況で課税されますので、平成30年中に取り壊しをされた人は年内に忘れずに届け出をしてください。

さい。届け出がなければ、取り壊しの確認ができないため、平成31年度も課税の対象となります。

なお、法務局に家屋滅失登記をした場合、町役場への届け出は不要です。

【問い合わせ先】町役場税務課資産課税担当（☎692・6481）

## 税金

### 提出期限は1月31日 償却資産の申告期限です

平成31年度の償却資産（固定資産税）の申告時期が間もなくやってきました。申告が必要な人は平成31年1月1日現在、町内に事業用資産を持っている人です。

償却資産とは、工場や商店、農業などの事業を行っている人が、その事業のために所有している構築物、機械、備品などのことをいいます（土地、家屋、自動車を除く）。

平成30年中に申告された人には、12月下旬に関係書類を送付します。内容をご確認の上、1月31日（木）までに提出してください。

さい。

#### ◆初めて申告する人は

町役場税務課まで

初めて申告が必要となる人は、町役場税務課に関係書類を用意していますので窓口までお越しください。申告書は所得税（住民税）の確定申告書などと照合しますので、正確にご記入ください。こちらも期限は1月31日（木）です。

【問い合わせ先】町役場税務課資産課税担当（☎692・6481）

## 「雫石町地域防災計画」 見直し案ご意見募集中

雫石町地域防災計画は、雫石町の全域および町民の生命、身体、財産を災害から保護するため、災害対策基本法に基づき、雫石町防災会議が定める計画です。全国各地での大規模災害の教訓による各種法律の改正を踏まえた上で、関係機関の助言を受けて見直し案を作成していますが、より良い計画とするため、町民の皆さんから次のとおりご意見を募集します。

【募集期限】1月11日(金)

【公表場所】役場庁舎、中央公民館、各地区公民館  
※町ホームページからもご覧いただけます。

【意見の提出方法】窓口での書面による提出、郵送、FAX、Eメール ※様式は問いませんが、公表場所に用紙を準備しています。町ホームページからもダウンロードできます。

【問い合わせ・提出先】〒020-0595（住所記載不要）町役場防災課危機管理担当 ☎ 692-6490 FAX 692-1311 Eメール bousai@town.shizukuishi.iwate.jp

町交通指導隊による初点検式と町消防団、町婦人消防協力隊による出初式を行います。

【日時】1月6日(日) 初点検式▼9時、消防出初式▼10時

【場所】町役場駐車場、上町〜中町の県道(出初式の分列行進)

【交通規制】分列行進の際に上町から中町までの県道雫石東八幡平線が交通規制されます。

【問い合わせ先】町役場防災課(☎ 692・6410)



平成30年の初点検式の様子

## 催し 一年の町の安全・安心を誓う 交通指導隊初点検式・消防出初式

## 障がい者への虐待を発見したら すぐに通報を!

町は、障がい者を虐待から守るため「障がい者虐待防止センター」を町役場総合福祉課内に開設しています。障がい者に対する虐待は、障がい者の権利や尊厳を害するものであり、安定した生活、社会参加を助けるためにも早期発見・早期対応が重要です。

地域や職場、家庭内で虐待もしくは虐待の疑いがあった場合は、当センターに通報していただくようお願いします。なお、虐待の通報をした人や届け出をした人の個人情報などについては守られ、通報者が施設・事業所や職場の職員の場合は、通報したことを理由に解雇などをすることは法律により禁じられています。

### 【連絡(通報)先】

●平日(8時30分~17時15分)▶町役場総合福祉課障がい福祉担当(☎ 692-6473)

●土日・休日・夜間(上記時間以外)▶町役場総合福祉課通報連絡電話(☎ 080-2841-6038)

## 防犯灯と交通安全施設 新設箇所の要望を受付中

町は、平成31年度に設置する防犯灯と交通安全施設(信号機、横断歩道、歩道、カーブミラー、赤色回転灯など)の新設箇所の要望を受け付けています。

皆さんの近所や通勤通学路に設置が必要と思われる箇所がありましたら、行政区長を通じて下記の期限までに要望してください。なお、要望は毎年提出が必要です。

### 【設置までの流れ】

①皆さんからの要望を、行政区長から各地区の防犯交通安全協会を通じて町に要望していただきます。

②関係機関(国、県、警察など)と合同で要望箇所を現地調査します。

③現地調査の結果を基に、優先順位の高い場所から整備します。

※限られた予算での設置となりますので、必ずしも要望箇所に設置されるとは限りません。その場合は再度要望書の提出が必要です。

【行政区長への要望期限】1月25日(金)

【問い合わせ先】町役場防災課消防交通担当(☎ 692-6410)

## 「ふるさと文化振興基金」平成31年度1次募集を受け付けています

町は、平成31年度ふるさと文化振興基金の補助対象事業の1次募集を行っています。ふるさと文化振興基金は、町民の皆さんが文化や産業の振興のために自主的に取り組む活動や調査、研究に対し、補助金を交付する制度です。

今回の募集は、平成31年4月1日～平成32年3月31日の期間に実施する事業が対象となります。

### 〈助成する活動および調査研究〉

- 文化、芸術の保存・伝承および活性化のための事業
- 福祉、保健衛生の向上のための事業
- 産業、スポーツ、教育、観光の活性化のための事業
- 自然保護、環境対策のための事業
- まちづくりシンポジウム、講演会の開催など

### 〈補助金の割合および限度額〉

次の2区分のうち、いずれかで応募できます。

- ①継続事業…補助対象経費の2分の1以内の額（上限50万円）
- ②新規事業…補助対象経費の全額（上限20万円）または補助対象経費の2分の1以内の額（上限50万円）

### 〈申し込み期限〉

平成31年1月11日(金) 17時

### 〈問い合わせ・申込先〉

町役場地域づくり推進課 (☎ 601-5419)

※申し込みに必要な書類は、町役場地域づくり推進課に備え付けています。また、町ホームページからダウンロードできます。



平成30年度2次募集「ローカルニュース発信講座の実施による人材育成事業」の様子。地域の魅力を、住民目線で町内外に発信することのできる「情報発信の担い手」育成をコンセプトにした講座を開催しました。

## ～平成31年度中学生民泊体験～ 受け入れ農家を募集中！

雫石町グリーン・ツーリズム推進協議会は、平成31年度の民泊受け入れ農家を募集しています。県外の中学生の民泊体験・農業体験を受け入れしていただける農家が対象です。

初心者でも安心して受け入れができるよう事務局がサポートします。

▶農業を体験する生徒



### 【募集対象】

- 民泊・農業体験を受け入れしていただける農家
- 水洗トイレのある農家（簡易水洗も可）

※受け入れにあたって、事前に安全衛生講習会を受講していただきます。

【受け入れ期間】平成31年5月～9月まで（1泊2日、もしくは2泊3日）

【受け入れ人数】県外の中中学生4人～

【受け入れ農家への支払額（生徒一人当たり）】1泊2日の民泊体験…5,700円、農作業体験（半日）…1,050円

【募集期間】平成31年1月31日(木) 締切

【問い合わせ・申込先】●受け入れ農家などの募集について▶雫石町グリーン・ツーリズム推進協議会（事務局：NPO法人しずくいし・いきいき暮らしネットワーク ☎ 691-1800）●その他に関すること▶町役場観光商工課（☎ 692-6407）



結果報告

# プロ記者と学ぶ「まちの魅力」発信の極意！ 「東北ニューススクール in しずくいし」

～町地域おこし協力隊の古山裕二さんより～

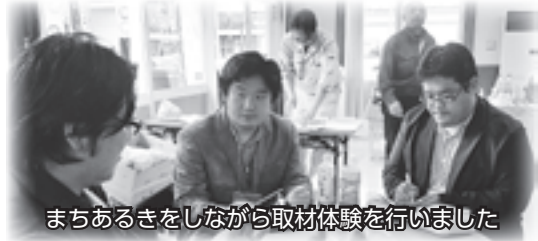
栗石町ふるさと文化振興基金を活用した「東北ニューススクール in しずくいし」を、9月22日と10月21日に実施しました。

東北発のニュースサイト「TOHOKU360」編集部  
の安藤歩美編集長、中野宏一副編集長を講師にお招  
きし、ニュースの見つけ方や記事の書き方など、プ  
ロ記者から情報発信の極意を学びました。

講座は座学だけではなく、栗石のまちへと飛び出  
しての取材体験や、受講生に課された「まちのニュー  
スを1本書く」で提出されたさまざまなニュースの  
発表、講評会と、実践的な内容！栗石高校の生徒や  
大学生、町内・県外の人と多様な受講生による、楽  
しく真剣な学びの場となりました。

講座の目的は「地域の魅力を発掘、発信する手法  
を学び、実践につなげることで、地域を担う人材の  
育成を図る」こと。

今回の講座受講が地域との関わりを深め、より愛  
着を持ち生活する一助になれば幸いです。



まちあるきをしながら取材体験を行いました



受講生が書いた記事は  
こちらのQRコードが  
ご覧になれます！



町地域おこし協力隊の  
古山 裕二さん

## 催し

### 栗石公民館冬休み企画 段ボール工場見学ツアーに参加しよう！

「段ボールの原料は段ボール」  
ということをご存知ですか？

栗石公民館は現在、冬休み企画  
「段ボール工場見学ツアー」の参  
加者を募集しています。

町内に工場がある東北紙器株式  
会社の協力により、普段はなかな  
か立ち入ることのない段ボール製  
造の現場を見学することができます。  
8月に初めて開催した同ツ  
アーには多くの児童が参加し、段  
ボールの製造工程やリサイクルな  
どについて学び、大変な好評を得  
ました。ぜひご参加ください。

#### ●段ボール工場見学ツアーの詳細

【主催】栗石公民館（町役場地域  
づくり推進課）、協力▼東北紙器  
株式会社、町地域おこし協力隊  
【日時】12月25日（火）9時～12  
時（9時集合）

【集合場所】栗石公民館

【対象】小学4～6年生の児童20  
人 ※保護者、祖父母、親戚など  
大人の同伴も可能。

【定員】20人



8月に開催した「段ボール工場見学ツアー」の様子

【参加費】無料  
【申込方法】参加者の氏名（児童、  
保護者など）、学校名、学年、当  
日の連絡先（保護者の携帯電話番  
号など）を左記申込先までお知ら  
せください。  
【申込締切】12月20日（木）※定  
員になり次第受け付けを終了しま  
す。  
【問い合わせ・申込先】栗石公民  
館（☎692・3458）

スキーシーズン到来 お得いっぱい!

**町内3つのスキー場で冬を満喫しよう!**

町内3つのスキー場がいよいよオープン!それぞれ異なる魅力と風景を楽しめるスキー場で、雫石ならではの多彩な雪遊びを満喫しましょう!

雫石スキー場では全日、網張温泉スキー場では平日、今年も19歳のリフト券が無料です(じゃらんnet会員への登録が必要。特定日を除く)。また、雫石スキー場では、20歳の平日リフト券も無料です。岩手高原スノーパーク、雫石スキー場では、小学生以下のリフト券が無料です。

3スキー場がさまざまな企画を用意し、皆さんのお越しをお待ちしています。

★雫石スキー場 (☎ 693-1111)

【営業時間】平日・休日▶8時30分~16時30分、金曜・土曜・休前日▶8時30分~20時 ※ナイター営業は日により営業日・時間が異なりますので、お問い合わせください。

★網張温泉スキー場 (☎ 693-2211)

【営業時間】平日▶8時30分~16時、土曜・日曜・祝日▶8時~16時

★岩手高原スノーパーク (☎ 693-4000)

【営業時間】平日・日曜・休日▶8時30分~21時、金曜・土曜・休前日▶8時30分~22時



◀岩手山や雫石の町並みを望むことができる各スキー場

**催し**

ボランティアスタッフ募集中!  
第52回いわて雪まつりは2月2日~開催

第52回いわて雪まつりは、2月2日(土)~11日(月・祝日)に開催します。

今年は一あそぶ、めぐる、感じる、雪のわくわく」をテーマに、メイン会場の岩手高原スノーパークで、雪像、ステージショー、屋台村、花火が打ち上げられるほか、全7会場で大人から子どもまで楽しめる催しを開催します。

●ボランティアスタッフ募集中!

いわて雪まつり実行委員会は、次のとおりボランティアスタッフを募集します。

【活動内容】雪まつり期間のメイン会場(岩手高原スノーパーク)のイベント運営に係る補助

【日時】2月2日(土)~11日(月・祝日)

【時間】8時30分~18時の間

【申込方法】下記問い合わせ・申込先へ氏名・性別・年齢・住所・電話番号・お手伝いできる日時をお知らせください。

【申込期限】12月21日(金)

【その他】平成31年1月に事前

のスタッフ打ち合わせ会を実施します。

・活動時間により昼食を準備します。

・防寒対策は各自でお願いします。

・現地集合、現地解散とします。

・報酬などの支払いはありませんが、謝礼として記念品をお渡しします。

【問い合わせ・申込先】いわて雪まつり実行委員会(町役場観光商工課内) (☎ 692・6407、ファクス▼692・5208、Eメール▼kankou@town.shizu.kuishi.iwate.jp)



多くの来場者でにぎわう昨年の雪まつり会場

## 冬の省エネ・節電の有効な取り組みの一例

- ①照明
  - ・人がいない部屋の電気はすぐに消しましょう。
  - ・白熱電球をLED電球に交換するのも有効な手段です。
- ②電気ポット
  - ・ポットのお湯を、そのまま保温するのではなく、使用後電気プラグを抜いて、また使用する際に再沸騰させましょう。
- ③衣類
  - ・マフラーや靴下などで特に冷えやすい首回りや足元を温めましょう。
- ④温水洗浄便座
  - ・設定温度は低めに設定する。
  - ・使用しないときには、必ずフタを閉めましょう。



12月は地球温暖化防止月間です。これからの季節、寒い日が続きませんが、暖房を中心として多くのエネルギーが家庭で使われています。過剰な暖房の使用を抑制して、室温20℃でも快適に過ごせる「ウォームビズ」で地球と家計にやさしい生活を心掛け、寒い冬を快適に過ごしましょう。



町役場環境対策課長(右)から修了証が手渡されました

◆町民環境講座が開催されました  
最終回となる第5回町民環境講座が11月9日に開催されました。岩手県環境アドバイザーの高橋良和さんを講師として招き、「知ろう」・「考えよう」から、今「行動しよう」をテーマに、日頃の生活の中での環境にやさしい行動にそれぞれが気づき、そこから少しずつのおのが行動することにより、地域の環境保全が図られることなどの講話を聴講しました。講座の最後には閉講式が行われ、受講生に修了証が手渡されました。

【問い合わせ先】町役場環境対策課  
☎ 692・6486

**環境** 12月は地球温暖化防止月間  
**省エネ・節電を意識した生活を実践!**

**環境** そのごみは収集できません!  
**ごみの適正な排出にご協力を**

## 食品などの放射性物質測定結果

町は、放射線の影響に対する町民の皆さんの不安を軽減するため、皆さんが持ち込む食品などの放射性物質の測定を行っています。10月に町民の皆さんから持ち込まれた試料の検査結果は下表のとおりで、基準値を超えるものはありませんでした。また、町内の小中学校と保育所(園)の給食も同様の測定を定期的に行っており、検査結果はすべて不検出でした。

測定には予約が必要です。希望される人は町役場環境対策課(☎692-6403)までお問い合わせください。町ホームページにも検査結果を随時掲載しています。

単位: Bq (ベクレル)/kg

測定日	産地	試料名	基準値	セシウム134	セシウム137
26日	栗石地区	ダイコン	100	不検出(<10)	不検出(<10)
26日	栗石地区	サトイモ	100	不検出(<10)	不検出(<10)
26日	栗石地区	カボチャ	100	不検出(<10)	不検出(<10)
26日	栗石地区	ニンジン	100	不検出(<10)	不検出(<10)
26日	栗石地区	ジャガイモ	100	不検出(<10)	不検出(<10)

自宅で使用している在宅医療廃棄物は、ごみ集積所に出せないごみなので、掛かりつけの医療機関に相談するなど、適切に処分するようにしてください。

また、個人の住宅で火災により発生したごみ(事業者を除く)は、盛岡西消防署零石分署が発行する罹災証明書があれば無料で処分することができます。

詳細は、滝沢・栗石環境組合または町役場環境対策課までお問い合わせ



ごみ集積所に不適切に捨てられていた在宅医療廃棄物

合わせください。  
【問い合わせ先】●町役場環境対策課(☎692・6403)  
●滝沢・栗石環境組合(☎688・2464)

# 地域包括支援センターだより けんこう ~ 健幸長寿への道 ~

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんの生活を総合的に支援しています。お気軽にご相談ください。

問い合わせ先▶総合福祉課 雫石町地域包括支援センター (☎ 691-1105)

## 広がっています！認知症支援の輪

認知症は、「いろいろな原因で記憶や判断力など脳のはたらきに不都合が生じ、生活する上での支障が続いている状態」をいい、誰にでも起こりうる病気です。

まわりの人の理解やサポートがあれば、認知症になっても住み慣れた地域での生活を安心して続けていくことができます。

町内でも、認知症の人やその家族、地域の皆さんをサポートする取り組みの輪が広がっています。



### 認知症の方を支えるまちづくり連絡会

認知症の人やその家族が安心して暮らせる地域になるよう、さまざまな関係機関が参加している連絡会です。各機関と連携しながら、ご本人を地域で支援していくための話し合いや、支援を地域全体に広げる活動などを行っています。

連絡会では、認知症の人や家族に向けて、「雫石版 認知症の人と家族のための7か条」(右図)を作成しました。

また、9月に行われた「雫石町介護予防講演会」では、展示・体験コーナーを担当しました。高齢者の暮らしに関する便利グッズや介護用品の展示、認知機能チェック、認知症予防の適塩みそ汁のおふるまいなどを行い、参加者の皆さんから好評でした。

#### 雫石版 認知症の人と家族のための7か条 (雫石町認知症の方を支えるまちづくり連絡会作成)

- 第1条 「あやんなにがひょんだ？」は大事なサイン  
(「あれ？何かおかしいな？」は大事なサイン)
- 第2条 はやぐ診でもらえ、いくなる認知症もあるぞよ  
(早く診てもらおう よくなる認知症もあるんだって)
- 第3条 一人で悩むな、まんずあべ  
(一人で悩まないで まず一緒においで)
- 第4条 認知症の正しいこと、ちゃんと覚えるべ  
(認知症の正しい知識を、ちゃんと覚えよう)
- 第5条 しよすがるな、かぐすな、みんなにすけでもらえ  
(恥じないで、隠さないで、みんなの手を借りよう)
- 第6条 認知症になっても、やれることはやってもらうべ  
(認知症になっても、やれることはやってもらう)
- 第7条 われの時間もつづるべ  
(介護する人も、自分の時間をつくりましょう)

### オレンジカフェ「のぎく」

オレンジカフェは、地域の人が介護や認知症についての理解を深め、誰でも気軽に交流できる場です。毎回のミニ講座では、健康づくりや認知症予防のヒントをお伝えしています。おいしいお菓子と飲み物でホッとできるひとときを過ごしませんか。

【日時】毎月第2金曜日 10時～12時

【場所】町まちおこしセンター しずく×CAN

【参加費】200円(飲み物・茶菓子代)

【内容】12月14日(金)「ミニ歌声喫茶」、1月11日(金)「アロマで心も身体もリフレッシュ」、2月8日(金)「おくと認知症の話」



参加者の皆さんから「のんびり過ごせた」「勉強になった」などの声をいただいています。ぜひご参加ください♪



認知症地域支援推進員  
橋場可代子さん

町地域包括支援センターは、認知症を含む介護や在宅生活に関する相談窓口です。電話や窓口相談のほか、ご自宅にも訪問します。お気軽にご相談ください。

子育て情報  
通信 vol.7

## たんぽぽおはなし会

【担当】町役場子ども子育て  
支援課 (☎ 601-5428)

皆さん、こんにちは！子育てコンシェルジュの猪又優香です。

今回は、絵本の読み聞かせを行っているボランティア団体「たんぽぽおはなし会」をご紹介します。

「たんぽぽおはなし会」は、子どもが小さな頃から絵本やおはなしを通して、親子が幸せな時間を過ごすための手助けになるようにと活動しています。0歳の赤ちゃんから就学前の幼児を対象に、ボランティアによる絵本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアター、エ

プロンを舞台上に物語が繰り広げられるエプロンシアター、親子で楽しめる工作などを行っています。

毎月第3木曜日 10時30分から町中央公民館 2階視聴覚室、毎月第4金曜日 10時30分から町健康センターのつどいの広場で「おはなし会」を開催しています。

親子で絵本に触れ合う楽しい時間を一緒に過ごしませんか。



たんぽぽおはなし会に  
サンタがやってくる♪

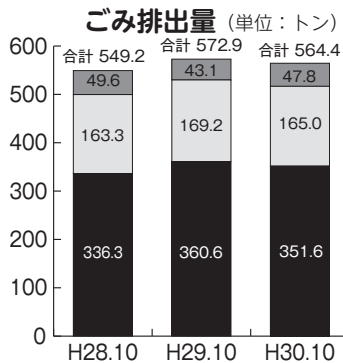
日時：12月20日(木)  
10時30分から  
場所：町中央公民館 2階  
視聴覚室

あそびにきてね！



## ごみの減量、リサイクルを

【担当】町役場環境対策課  
☎ 692-6403



平成30年10月に排出されたごみの量は約564<sup>トン</sup>、そのうち家庭から排出されたごみは、約352<sup>トン</sup>でした。引き続きごみの減量・資源化にご協力をお願いします。



### 平成30年度第2回環境推進会議が開催されました

今年2回目となる環境推進会議は、11月13日に町総合福祉センターで行われました。

地域の環境保全、ごみの減量ならびに地域における再生可能エネルギーの導入の可能性について、ワークショップ形式により行われ、参加者は活発に意見を交わしました。



環境推進会議の様子

◆使用済み食用油は有効な資源で、燃料として再利用されています。

#### 【使用済み食用油拠点回収実績】

	平成28年10月	平成29年10月	平成30年10月
回収量 (ℓ)	281	287	183

※回収場所は町役場など町内15カ所です。町HPをご覧ください。

### 町の窓口業務

年末年始はお休みさせていただきます

【一般業務】

12月29日から1月3日まで休ませていただきます。休み期間中の婚姻届、出生届、死亡届などは宿日直者が受け付けします。受付場所は役場庁舎西側の宿直室です。

【保健衛生業務】

次のとおり休ませていただきます。清掃センター▽12月31日～1月3日 ごみ収集▽「ごみと資源の分け方・出し方カレンダー」をご覧ください。火葬場▽12月31日～1月2日

11月11日

## 建物密集地での大規模火災を想定 雫石町火災防御訓練に約 200 人が参加

平成 30 年度雫石町火災防御訓練は、11 月 11 日よしゃれ通り商店街および周辺市街地を会場に、約 200 人が参加して行われました。

訓練は、雫石郵便局の火災を発見した住民から 119 番通報があり、その後、強風により延焼拡大し、約 150 メートル離れた中町一公民館へ飛び火したことを想定して、盛岡西消防署雫石分署の職員指導のもと、町消防団や中町一自治会などの周辺住民が参加し行われました。建物密集地で火災が発生したときは、各家庭で洗濯物や燃えやすい物を片付け、飛び火による延焼防止にご協力をお願いします。

これから冬にかけて空気が乾燥し、火災が発生しやすい気候となります。暖房器具など火気を使う機会も多くなってきますので、「慣れ」や「油断」から火災を起こさないよう注意しましょう。



住民からの 119 番通報訓練



雫石郵便局前で行われた消火訓練

# TOWN TOPICS

タウン トピックス

## まちの話題・ 出来事紹介

●あなたの身近で起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの情報をお知らせください。

【町役場政策推進課広報担当】

〒020-0595（住所不要）

電話番号：直通 692-6570

FAX 番号：692-1311

E メール：kouhou@town.shizukuishi.iwate.jp

11月4日

## 今年も笑顔と元気を乗せて快走した 「元祖しずくいし軽トラ市」 閉幕

5 月からスタートした「元祖しずくいし軽トラ市」（同実行委員会主催）が 11 月 4 日、本年度の最終回を迎え、会場のよしゃれ通り商店街は、雫石のおいしい秋の味覚などを求める約 5,400 人の来場者で賑わいました。

この日は、最終回の恒例となった、町内の温泉ペア宿泊券などの景品が当たる「お楽しみ大抽選会」などが行われ、大いに盛り上がりました。

全 6 回開催された今年の軽トラ市には、延べ約 26,000 人が来場しました。

来年も笑顔と元気を乗せて走り続ける「元祖しずくいし軽トラ市」に、ぜひお越しください!!



軽トラが見えなくなるほど大勢の買い物客でにぎわう「元祖しずくいし軽トラ市」

10月31日

## しずくいし麻の会が「いわての物産展等実行委員会会長賞」受賞



「いわての物産展等実行委員会会長賞」を受賞した「亀甲ふくさ」

しずくいし麻の会（瀬川綾子会長）の「亀甲ふくさ」が、いわての特産品コンクール工芸・生活用品部門で 19 事業者 42 品目の中から「いわての物産展等実行委員会会長賞」を受賞し、10 月 31 日に授賞式が行われました。

このコンクールは、販路拡大に意欲的に取り組む県内事業者による新商品の開発促進と、これら商品の普及を図るため毎年開催されています。

瀬川会長は「賞をいただき大変嬉しく思います。麻の素朴な風合いと草木染めの温もりがある伝統織物です。ぜひお手に取ってください」と喜びを述べました。

11月15日

## 雫石郷土芸能伝承活動細川会 内閣総理大臣賞など受賞！

11月1日～4日、雫石郷土芸能伝承活動細川会（細川チエ子代表）が、東京都品川区で開催された「平成30年度民謡民舞全国大会（公益財団法人日本民謡協会主催）」の最高部門である「内閣総理大臣賞争奪戦（民舞）」に出場し、「内閣総理大臣賞」などを受賞しました。

11月15日、同会の12人が町役場を訪れ猿子町長らに報告。細川代表は「地元雫石の皆さんにお世話になり、数多くの賞をいただきました」と喜びを語りました。



▲たくさんの賞状やトロフィーを手に喜びを報告する細川会の皆さん  
◀大会の様子

11月7日

## 雫石中学校でいのちの授業 命の大切さやストレス対処など学ぶ



ストレスを紙コップで表現

11月7日、雫石中学校で1年生121人と教職員などを対象に「いのちの授業」が行われ、命の大切さやストレスへの対処、悩んだときは誰かに相談することの大切さについて学びました。

この授業は、未来の風せいわ病院智田文徳理事長が講師を務め、若年層への自殺予防普及啓発を目的に平成21年から開かれており、同校では毎年開催されています。講師の智田理事長からは、「誰かに話すことで乗り越えられることもある。相談された人も心を傾けて相手の気持ちを知ることのできる友だちの大きな力になることができます」と参加した生徒らに伝えました。

11月21日

## 高知県安芸市と相互応援協定締結 災害時の応急復旧に協力し合う

11月21日、高知県安芸市と「災害時における相互応援に関する協定書」を締結しました。

安芸市と雫石町は、小岩井農場の経営に携わった旧三菱財閥岩崎久彌氏ゆかりの地としてかねてから交流があり、本年5月には、関係4区市町による「岩崎家ゆかりの地広域文化観光協議会」を発足しており、この度、両市町の災害発生時における応急対策および復旧対策を円滑に遂行するため、相互応援協定の締結に至ったものです。



協定を締結した猿子町長（左）と横山市長

猿子町長と安芸市の横山幾夫市長は、「近年の災害では広域的な連携が必要とされている。互いに支え合っていきたい」などの意気込みを述べました。

11月16日

## 地域と教育がつながる 雫石中美術部が外壁塗装に協力

10月22日から11月16日までの全5回にわたり、町地域おこし協力隊の田山まりさん指導のもと、雫石中学校美術部が雫石町まちおこしセンターしずく×CAN前にあるさわやかトイレの外壁塗装を行いました。塗装された外壁には雫石町の地形をかたどったアートが色彩豊かに施され、明るい雰囲気生まれ変わりました。

この事業は、同センター管理者の櫻田七海さんの「地域と教育をつなぎたい」という思いから、雫石中学校や町地域おこし協力隊の協力により実現しました。お近くを通った際は、ぜひ足を止めてご覧ください。



▲雫石中学校美術部の皆さんと町地域おこし協力隊の田山さん（下段左から4番目）  
◀塗装の様子

## 第五弾



さい

### 農業が抱える課題

農業の現場では、全国的に担い手の高齢化が進み、労働力不足が深刻となっています。農作業の省力・軽労化を進めることや、新規就農者への栽培技術力が継承できるようにすることが大きな課題となっています。

### スマート農業の実用化

こうした農業が抱える課題を解決し、変革をもたらすものとして期待されるのが「スマート農業」です。

「スマート農業」は、ロボット技術や人口衛星の活用、ICT(情報通信技術)などを活用し、省力化、高品質生産を実現することが期待される取り組みで、雫石でも農業現場への導入が進んでいます。

# 発見

〜雫石の農業〜



農業用ドローン

#### ◆農業用ドローン

水田管理の中でも農薬散布は時間と労力のかかる作業です。ドローンを使えば1畝あたり15分前後で作業でき、作業時間の短縮などができます。

#### ◆ICT(情報通信技術)

土壌の状態や天候、肥料、作物の品種、作業履歴などをすべてデータ化し、生産管理に活用することによって、品質を高め、収穫量を増やし、収益向上につなげることができます。

先進技術を活用して  
農業の課題を解消

#### ◆生産管理システム対応コンバイン

ICTを活用した機能を搭載したコンバインのなかには、収穫作業と同時に収量、タンパク質含量、水分含有率を測定するセンサーを搭載したものもあります。得られたデータはパソコンなどの農業生産管理システムに送られ、全体の作業時間、水田情報としても蓄積され、効率的な経営管理にも役立ちます。

#### ◆GPS付き田植え機

GPS受信機を搭載し、真っ直ぐ苗を植えられる田植え機は、作業経験の浅い人でも効率的に作業ができます。

#### ◆水稲向け水管理支援システム

専用のセンサーを水田に設置することで、水位・水温を測定し、タブレットや

### 株式会社みりのり片子沢が全国優良経営体として表彰されました

片子沢集落を中心に大規模な農業経営を行っている農業経営法人株式会社みりのり片子沢(根澤將次代表)が、今回紹介したスマート農業など、積極的な革新技術の導入による経営を評価され、平成30年度全国優良経営体表彰において「全国担い手育成総合支援協議会会長賞(生産技術革新部門)」を受賞しました。



スマートフォンなどを使って遠隔地から状況を確認できます。



▲雫石地産食楽部の  
フェイスブックの  
QRコード



【応募要領】子の写真(データ)、子の名(ふりがな)と生年月日、保護者(父母)氏名、住所(行政区)、電話番号、コメントを書き添え、誕生月の前月20日(※までに投稿してください)。※写真データはメールで送信するか、SDカードなどを持参してください。  
 【応募先】栗石町役場政策推進課広報担当Eメール:kouhou@town.shizukushi.wate.jp

# ★ わが家の★ 12月生まれ★ ★ アイドル★

発行月に3歳の誕生日を迎える子を紹介しています。掲載を希望する人は左記までお申し込みください。

**高橋 綾香ちゃん**  
 りょうか  
 健司・香織夫妻の子  
 (上町二)



4人兄弟の末っ子で1人だけ女の子ですが、3人のお兄ちゃんにも負けずに元気いっぱい毎日です。変顔をしたり、いつもみんなを笑わせてくれるので、兄弟喧嘩が少なくなって助かります。

**夷森 瑠愛ちゃん**  
 るな  
 和人・由佳夫妻の子  
**夷森 夢愛ちゃん**  
 ゆな



お人形で遊んだり、歌をうたうのが大好きな2人です。これからもお兄ちゃん、お姉ちゃんと仲良く元気に育ってくださいね♡

## 町の求人情報

①職種 ②基本給 ③求人番号 ④必要資格など  
 注)㊦印は正社員採用、㊦は普通車運転免許、㊦は大型車運転免許、㊦はAT限定不可

- ◆(株)JAライフサポート(町裏) ①介護支援専門員②180,000円③27799681 ④介護支援専門員(主任介護支援専門員あればなお可)、㊦◆(株)航和(柿木) ㊦①看護師または准看護師②176,400円~229,200円③27494781 ④看護師または准看護師、㊦◆(株)栗石プリンスホテル(西根) ①調理②150,000円~200,000円③26553681 ④㊦◆同①ホテルレストランサービス係②150,000円③26569081 ④㊦◆(株)栗石大森クリニック(千刈田) ㊦①正看護師・准看護師②210,000円~270,000円③26222481 ④正看護師免許または准看護師免許◆(有)横手鋳金工業所(黒沢川) ㊦①鋳金工②180,000円~300,000円③25366281 ④㊦◆小岩井農産(株)(丸谷地) ①鶏の飼養管理(成鶏)②132,000円~154,000円③25380781 ④㊦◆同①鶏の飼養管理(ふ卵)②132,000円~154,000円③25382281 ④㊦◆同①鶏の飼養管理(ヒナ)②132,000円~154,000円③25259581 ④㊦◆(株)下田工務店(西根) ㊦①ダンプ10t運転手②220,000円③25075581 ④㊦◆特別養護老人ホームおうしゅく(2月開設)(鶯宿) ㊦①生活相談員②164,500円~175,000円③24731481 ④社会福祉主事任用資格、㊦◆同㊦①生活相談員②184,500円~210,000円③24738681 ④社会福祉士、㊦◆同㊦①事務職員②180,000円~200,000円③24598781 ④㊦◆町立西根保育所(西根) ①保育士②144,000円~180,000円③24188781 ④保育士◆町立御明神保育所(御明神) ①保育士②144,000円~180,000円③24189881 ④保育士◆特別養護老人ホーム日赤鶯鳴荘(南畑) ①介護職員②136,000円~200,000円③23657681 ④㊦◆(株)トーア興行(板橋) ㊦①鷹工・移動式クレーン運転手②250,000円~300,000円③22516181 ④移動式クレーン、玉掛◆特定非営利活動法人ヘルスプロモーションいわて(万田渡) ㊦①訪問看護②213,000円~302,000円③22572281 ④看護師、准看護師または保健師資格、㊦◆(有)中村屋(中町) ㊦①洋菓子職人②135,000円~150,000円③22277081 ④㊦◆(株)栗石砂利工業(川原) ①土木作業員②180,000円~280,000円③21635281 ④㊦◆玄武温泉ロッジたちばな(長山) ㊦①調理全般②150,000円~180,000円③21204881 ④㊦◆合同会社ふれあいの家①①介護業務②135,000 ③22434881 ④介護福祉士、㊦

※10月10日~11月15日までに盛岡公共職業安定所に申し込みのあった事業所の求人です。就業希望の人は同職業安定所紹介第一部門(☎624-8902)へ求人番号を(特に指定のない場合は掲載8桁の数字の前に03010も告げてください)告げてお問い合わせください。また、事業所へは職業安定所の紹介状をご持参ください。なお、すでに充足済みとなっている場合もありますのでご了承ください。

※役場1階の求人情報掲示コーナーもご利用ください。  
 【担当】町役場観光商工課(☎692-6497)



## 年末のし尿汲み取り 申し込みはお早めに

例年、年末のし尿汲み取りの申し込みは大変混み合いますので、年内に汲み取りを希望する場合は、12月14日(金)までに次の業者へ申し込んでください。なお、年末年始の汲み取り業務は12月29日(土)から1月3日(木)まで休みます。

【問い合わせ・申込先】文化企業(株) (盛岡市上鹿妻稲荷場 44 番地、☎ 659-3210、FAX 658-0990、フリーダイヤル 0120-593210)

## 盛岡手づくり村 レストラン経営者募集

盛岡手づくり村は、盛岡広域に所在し、食堂経営に実績のある企業を募集します。希望する企業は、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】(公財)盛岡地域地場産業振興センター(盛岡手づくり村) (☎ 692-2201)

## 2019年版岩手県民手帳 岩手県能率手帳販売中!

2019年版岩手県民手帳、岩手県能率手帳を町役場2階政策推進課で販売しています。ぜひお買い求めください。

【販売価格(税込み)】岩手県民手帳 700円、岩手県能率手帳(別冊付録「アドレス帳付き」) 800円

【販売期間】1月22日(火)まで

【問い合わせ先】町役場政策推進課内 (☎ 692-6571)



## 町長交際費を 公開します

町は、行政運営の一層の透明性を図り、町民に開かれた信頼あるまちづくりを進めるため、町長交際費の支出状況を公開しています。また、町ホームページでも公開しています。  
交際費の支出状況

10月		累計(4月~10月)
3件	22,000円	526,500円

## 税情報

【12月の納税】納期限: 12月25日(火)  
町県民税4期・国民健康保険税6期

### あなたの軽自動車 廃車登録はお済みですか?

軽自動車やトラクターなどを譲ったり、売却した場合や壊れて使っていない場合は、廃車の手続きが必要です。手続きがされないと、いつまでも軽自動車税が課税されてしまいます。

軽自動車税は、4月1日現在の所有者に課税されます。軽自動車の廃車の手続きは、平成31年4月1日までにお願いします。

【届け出窓口】栗石ナンバーは町役場税務課(☎ 692-6483)、軽自動車は県軽自動車検査協会(☎ 050-3816-1833)、二輪自動車(126cc~250cc)は全国軽自動車協会連合会岩手事務所(☎ 639-8021)、二輪自動車(250cc超~)は岩手運輸支局(☎ 050-5540-2010)、手続きに行けない人は県自家用自動車協会(☎ 637-2016)

【担当】町役場税務課(☎ 692-6483)

(10月届け出分)

おめでた カッコ内は保護者名  
今回は掲載希望がありませんでした。

おくやみ カッコ内は享年と世帯主または喪主

9月

29 藤原 和久 (59・ゆりこ) 篠崎

30 柴橋樹三郎 (86・和彰) 上駒木野

10月

2 高橋 一二 (92・秀明) 安庭

10 南野 スサ (89・忠春) 榊沢

13 名久井和子 (78・正) 上町一

13 高橋 耕一 (74・英樹) 片子沢

16 篠村 光男 (75・周) 篠崎

17 中村セイ子 (81・隆夫) 下町二

18 村田キミエ (91・和久) 野中

23 三本 芳郎 (70・義和) 林

23 羽上 タエ (85・修司) 小松

25 土橋 ハヤ (81・栄子) 八丁野

26 川村キクノ (95・祐一) 下町三

29 田中 良子 (88・壽郎) 八区



# お・知・

## ● 人のうごき 平成30年10月末現在

男	8,008人	(7)	出生	2人
女	8,744人	(△8)	死亡	19人
計	16,752人	(△1)	転入	37人
世帯数	6,340世帯	(8)	転出	19人

※カッコ内は前月末増減

## ● 火事・救急 10月末

火事	0件	(1件)
救急	65件	(638件)

※カッコ内は1月からの累計(盛岡西消防署栗石分署)

## ● 事故 10月末

件数	1件	(18件)
死者	0人	(0人)
負傷者	1人	(21人)

## ● 犯罪 10月末

件数	3件	(31件)
----	----	-------

※カッコ内は1月からの累計(盛岡西警察署)

## 休日救急当番医

### ◆ 12月

16日	上原小児科医院	692-3907
23日	篠村医院	692-5151
24日	栗石大森クリニック	691-2345
29日	篠村医院	692-5151
30日	栃内第二病院	684-1111
31日	上原小児科医院	692-3907

※1月以降の当番医表は本紙と同日に全戸配布します。

※この日程は医師の都合により変更になることがあります。

平日休日問わず夜間は、盛岡市夜間急患診療所(内科・小児科、盛岡市神明町3-29(盛岡市保健所2階)、☎654-1080、年中無休19時~23時)をご利用ください。

## 放射線量測定結果(11月)

最大	0.05	(単位: $\mu$ Sv/時)
最小	0.04	※文部科学省・厚生労働省による屋外活動の制限指標: 3.8 $\mu$ Sv/時
平均	0.05	

## 栗石町職員(保育士・保健師・薬剤師)を募集!

平成31年4月1日採用予定の、町職員(保育士・保健師・薬剤師)を下記のとおり募集します。

【受験資格】●保育士▷昭和58年4月2日以降生まれで保育士資格を有する者、または平成31年3月までに取得見込みの者●保健師▷昭和40年4月2日以降生まれで保健師免許を有する者●薬剤師▷昭和58年4月2日以降生まれで薬剤師免許を有する者

【受験手続き】町役場総務課で交付する申込用紙に必要事項を記入し、1月10日(木)までに提出してください(受付時間は、平日8時30分から17時15分まで)。

【採用試験日】●一次試験▷1月27日(日)9時から●二次試験▷2月中旬

※詳細は、町ホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】町役場総務課職員担当(☎692-6487)

## あねっこバス年末年始運休のお知らせ

【運休日】12月30日(日)~1月3日(木)の5日間

【対象路線】全路線(全便)

※ご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。

## 新農業人フェア in いわて 新規就農相談会開催

(公社)岩手県農業公社は、新たに農業にチャレンジしようとする人を対象に、県内の就農に関する情報の提供と円滑な定着を図ることを目的に「新農業人フェア in いわて」を開催します。詳細は、下記までお問い合わせください。

【日時】1月12日(土)10時30分~15時30分

【場所】いわて県民情報交流センター(アイーナ)8階804会議室

【参加料】無料(入退場自由)

【問い合わせ先】(公社)岩手県農業公社(☎623-9390)

## ご確認ください

### 「防災タウンページ」

日頃からの備えや災害時の行動のポイントを盛り込んだ「防災タウンページ 岩手県版」がNTTタウンページ(株)から発行されます。付録として「公衆電話+避難所マップ」も付いていますので、災害発生時はもちろん、いざという時に備えて確認しておきましょう。

「防災タウンページ」は、「タウンページ」と一緒に12月上旬から12月末にかけて全住戸・全事業所に届けられます。

【問い合わせ先】タウンページセンター(フリーダイヤル0120-506309)

※受付▷平日9時~17時、定休日▷土日・休日、年末年始(12月29日~1月3日)

## ●夢クローズアップ

町の子どもたちを応援しています  
町立栗石中学校 校長

# 大倉 徹さん(59歳・鶯宿)

●おくら・とおるプロフィール：北海道出身。関東の大学院を卒業後、岩手県内の中学校教員となる。子育て環境を考え、夫人の実家がある栗石町へ移住。休日の楽しみは、温泉巡りやドライブをして過ごすこと。

地域に感謝する気持ち、町を大切に  
思う気持ちを教えていきたい



私たちが  
取材しました!



▲栗石中学校2年畠山柚乃さん(左)と同2年築場和葉さん(右)

▲「栗石中の良いところは、いつも元気なところ。しっかり挨拶するところ!」と話す大倉さん

教師になっただけじゃなく、中  
学生の頃に出会った技術の  
先生との出会いでした。面

白い先生だったんですよ」と笑顔で話  
す大倉徹さん。大倉さんは、現在町立  
栗石中学校の校長として、平成29年4  
月から着任しています。

大倉さんは、学校が重点的に取り組  
んでいることは、「学校と地域、生徒  
と地域の関わり」と話し、昭和55年か  
ら行われている「国道46号清掃活動」  
や「よしやれ祭り」への参加などを例  
にあげます。「生徒が地域の人たちの  
気持ちに伝えられるようにすること。

また、地域の人々への感謝の気持ち  
や、地域のために何かしたいと思っ  
てもらえるようなきっかけ作りを学校か  
らできたらと思っています」と地域と  
の関わり大切さに熱い思いを抱いて  
います。

今後とも町を盛り上げて、町を大事に  
思う気持ちを忘れない生徒たちでいて  
ほしいと願っています。

## 栗石中学校 職場体験レポート



インタビュー体験の様子。大倉さん  
が話す栗石中学校生徒への思いなどに  
真剣に耳を傾けていました。最後に「教  
師」という職業についての質問もあり、  
終始和やかなムードで行われました。

### あとがき

●今回、実際に取材などをしてみて、情報  
を発信することの大切さを実感しました。  
今後は、栗石のよさをよりたくさんの人た  
ち知ってもらえればと思います。(柚乃)  
●二日間という短い期間でしたが、広報担  
当の人たちが普段どのような思いで仕事  
をしているのを知ることができ、とても内容  
の濃い職場体験になりました! (和葉)

栗石町公式ツイッターはこちらから  
▷ <https://twitter.com/shizukukouhou>  
防災行政無線が聞き取れなかったときは…  
電話応答サービス▷ ☎ 0800-800-6371 (通  
話無料・固定電話のみ)をご利用ください。

## ～ 友好都市静岡県富士市の「いいもの」ご紹介(57) ～

富士芸術村は、古民家を活用した現代  
アート振興と若手芸術家育成のための  
アートスペースで、子どもを対象とした  
芸術講座などの市主催事業のほか、年間  
を通して展覧会やワークショップを開催  
しています。

製紙産業が盛んで全国有数の「紙のま  
ち」として発展してきた富士市では、そ  
の紙を文化・芸術の分野でも活用して  
いくために、「紙のアート作品」を全国公  
募し、入選作家による展示会「紙のア  
ートフェスティバル」を開催しています。  
今年は4作品が入選し、入選作家による  
ギャラリートークも行われました。

「紙のアートフェスティバル」は毎年  
夏ごろに全国公募していますので、興  
味のある人はぜひ富士市ウェブサイト  
をご覧ください。



▲本年度入選した「紙の  
アート作品」